

平成24年 教育委員会第21回定例会 会議録

日 時 平成24年12月11日（火） 午後3時25分～午後3時58分
場 所 昌平幼稚園 1階遊戯室

議事日程

第 1 議案

【子ども支援課】

- (1) 『議案第37号』千代田区立幼稚園使用条例施行規則の一部を改正する規則

第 2 報告

【子ども総務課】

- (1) 第4回区議会定例会報告
(2) 教育事務に関する議案に係る意見聴取

【指導課】

- (1) 平成24年度 東京都公立学校教育管理職等選考結果
(2) 平成24年度 「東京都教育委員会児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果

第 3 その他

【児童・家庭支援センター】

- (1) 個人情報記載された資料の発見について

【子ども総務課】

- (1) 千代田区行政委員会委員の報酬について
(2) 平成25年教育委員会第1回定例会について

出席委員（5名）

教育委員長	中川 典子
教育委員長職務代理者	近藤 明義
教育委員	市川 正
教育委員	古川 紀子
教育長	山崎 芳明

出席職員（8名）

子ども・教育部長	高山 三郎
次世代育成担当部長	保科 彰吾
子ども総務課長事務取扱 子ども・教育部参事	高橋 誠一郎
子ども施設課長	辰島 健

子ども支援課長	依田 昭夫
児童・家庭支援センター所長	山下 律子
学務課長	平井 秀明
指導課長	佐藤 興二

欠席職員（1名）

参事（子ども健康担当）	木村 博子
-------------	-------

書記（2名）

総務係長	小宮 三雄
総務係員	鶴田 優子

中川委員長	開会に先立ち、傍聴者から傍聴申請があった場合は、傍聴を許可することとしますので、ご了承ください。
	ただいまから、平成24年教育委員会第21回定例会を開催します。
	本日の署名委員は、近藤委員にお願いいたします。
近藤委員	分かりました。

◎日程第1 議案

子ども総務課

（1）『議案第37号』千代田区立幼稚園使用条例施行規則の一部を改正する規則

中川委員長	日程第1、議案に入ります。
	初めに、議案第37号『幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則』について、子ども支援課長より説明をお願いいたします。
子ども支援課長	資料、新旧対照表がお手元にあります。改正後、改正前とございますが、今年度開設いたしました昌平幼稚園と同様、平成25年度4月から千代田幼稚園に長時間保育課程を設ける関係で、使用条例を改正いたしました。それを受けての施行規則の一部を改正する規則でございます。
	新旧対照表をご覧いただきたいと思っております。入園手続きにつきまして、第2条でございますが、昌平幼稚園に千代田幼稚園を加えるものでございます。
	さらに、第2条第3項につきましても、千代田幼稚園を加えます。第8条の給食の実施についても千代田幼稚園を加えます。
	なお、第8条第2項、第1号の2様式、第1号の3様式、第2号の2様式でございますが、別添についてでございます。別紙1から別紙3が所定の手続様式となっております。
	別紙1について、「こども園・幼稚園入園申込書」が短時間保育用でございます。別紙2が同じく長時間保育の入園申込書となっております。3枚目が、裏面でございます。別紙3が入園許可書の通知書でございます。

中川委員長

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いたします。
説明が終わりました。
ご意見、ご質問等ありましたらどうぞ。
よろしいですか。

(「なし」の声あり)

中川委員長

特にないようですので、議案第37号について採決します。
賛成の方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

中川委員長
子ども支援課長

全員賛成につき、議案37号を決定することとします。
ありがとうございます。

◎日程第2 報告

子ども総務課

(1) 第4回区議会定例会報告

(2) 教育事務に関する議案に係る意見聴取

指導課

(1) 平成24年度 東京都公立学校教育管理職等選考結果

(2) 平成24年度 「東京都教育委員会児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果

中川委員長

では、日程第2、報告に入ります。

報告は4件ありますが、初めに、子ども総務課長より報告をお願いいたします。

子ども総務課長

子ども総務課から、第4回区議会定例会の報告と、教育事務に関する議案に係る意見聴取についてのご報告を申し上げます。

順序を逆転させまして、まず、教育事務に関する議案に係る意見聴取でございます。これは前回の教育委員会でもお諮りいたしました。議案につきましては、幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、当委員会でもご議決賜りまして、全員賛成でご可決いただいた件につきまして、改めて区長から意見照会がございまして、格別異存はないという報告であります。

そちらが、教育事務に関する議案に係る意見聴取でございます。

続きまして、区議会の定例会報告でございます。

前回の教育委員会では、区長の招集挨拶と各議員から出されました質問の趣旨までのご紹介をいたしました。今回は、お手元の資料にありますとおり、その質問に対する答弁について簡単にご報告申し上げます。

まず、高澤秀行議員からの質問ですが、質問用紙には「都立九段高校移譲の経緯について」とありますが、東京都と区の事務移管、制度改革に関すること、そして都市インフラが老朽化していく中、更新について東京都と区の協力関係はどうなっているのかという関係質問という中で、日比谷公園の移

譲と都立九段高校の移管についてを問われたものであります。

この中で、都立九段高校の移譲の件につきましては、記載にありますとおり、平成12年8月当時、千代田区では中学校教育検討会の提言の中で、千代田区として中等教育学校の設立を提言されたと。また、東京都の中でも、実は高等学校の区市町村への移管というのも構想されておりました、区の考え方と都の取り組みが合致して、平成14年に九段高校の移譲というのが決定したといった内容をご説明したところでございます。

続きまして、木村議員の質問でございますが、行財政構造改革についてということで、神田保育園の運営はどうなっているか、そして非常勤講師の幼稚園教諭が、担任を持ちながらも半年契約となっている状況がいいのかといった質問でございました。

神田保育園につきましては、区立区営で運営できるよう、今準備を進めているところであるとお伝えいたしました。また、一部幼稚園で非常勤講師が学級担任をしている状況については、さまざまな工夫をしながら人員配置をしていると。ただ、その課題については十分認識しておると。今後の任用制度改革の動向を見詰めながら、こういった状況をいち早く改善していくと、いきたいという旨の答弁をしたところでございます。

続きまして、山田ながひで議員からの質問ですが、子育ての諸課題についてということで、記載にありますとおり、3点ですね、「子ども・子育て関連3法」、「子育て環境・父母の役割」、「当面の施設整備・緊急保育施設等」についての3件についてのお尋ねがありました。

区長からはどういう決意であるかということ、今後も子どもと親の育ちを地域全体であたたく支えるまち千代田区の実現に向けて取り組んでいくといった決意を区長からお答えいたしました。

また、子ども・教育部長からは、遊び場確保についての取り組み、これは前回の教育委員会でもご紹介しましたが、4ページの中段に記載しております。平成25年4月の本格実施を目指していくのと、条例制定については、行政だけでなく、事業者等、区を構成する広範な支援体制とその役割を明らかにするような条例といったものが提案できるよう、準備を進めているところであるといった答弁をしたところでございます。

そして、次世代育成担当部長からは、子育ての諸課題について、「子ども・子育て新システム」についてさまざま法律も成立しましたが、そのニーズ調査については今行っているところであると。

そして、現在の次世代育成推進会議を発展的に解消する形での「子ども・子育て支援事業計画」等を策定するような会議を策定するということ。

そして、5ページの下段でございます。当面の施設整備でございますが、先ほども触れましたが、平成25年度には神田保育園新園舎が完成するということ。そして、千代田幼稚園、小学校が連携する千代田幼保一体施設の開設もあり、この神田地域の保育供給量は大幅に増加するということが明らかになりましたので、現在の旧今川中学校にあります緊急保育施設は、予定どお

り一旦閉園とするということをお伝えしたところでございます。

6 ページの最上段であります。認証保育所の今後の開設状況についてのお尋ねについては、平成25年度に、旧交通博物館跡に、大規模高層ビルの中に新たな認証保育所が設立される見込みとなっているとお答えをしたところでございます。

次に、内田直之議員からは、子どもの教育・保育プログラムについてのお尋ねがありました。教育長から、改めて幼児教育の重要性についてのお伝えをしたところでございます。

7 ページをご覧ください。次世代育成担当部長からは、就学前の子どものための教育・保育プログラム策定の趣旨・目的について、ご説明を申し上げました。7 ページの下から4行に込められております。各園の特徴は尊重しつつも、区立・私立の設置主体の別や、保育所・幼稚園といった認可形態の違いにとらわれることなく、子どもたちが小学校に進学する前に最低限、身につけていただきたい教育・保育の内容を明らかにすることで、子どもたちの健全育成に資することを目的にこのプログラムをつくっているところだと。

8 ページでございます。

小1問題、いわゆる小1プロブレムにつきまして、本区ではそういった実態は今のところないと。ただ、そういったことについての課題認識は十分持っているということと、家庭の教育力の向上について認識しているところについても、側面的な支援を欠かさない、努めていくといった答弁をしたところでございます。

最後に、はやお恭一委員からは、子どもを育む環境づくりの支援についてといったことでお尋ねがありました。

区長から、9 ページの中段であります。いわゆるさまざまな形での青少年健全育成に関する活動については、類似している活動を整理したり、主催している団体が共に活動できるような調整や、活動に参加しやすくなる周知方法を含め、工夫をしながら、庁内組織の連携を図り、関係諸団体による横断的な議論の場を設置していくと。今まで個別にやっていたものについては、ある程度の統合性、まとめをしていくということも考えなくてはいけないといった答弁を申し上げました。

また、「学校支援地域本部」と同様の役割を担う組織の体制と機能でございますが、はやお議員は、学校支援地域本部を本区でもつくらなくていいのかといったご質問でありました。それに対しまして、本区においては、地域支援本部は設置していませんが、平成13年度からは学校運営連絡会を設置し、同様の活動をしているといったご答弁をしたところでございます。

そして、10 ページをご覧ください。

はやお議員は、放課後子どもプランの成果と課題についてのお尋ねがありました。その事業の実態、そして課題認識についてお答えしたところでございます。内容は記載のとおりでございます。

中川委員長

報告は以上でございます。

ありがとうございました。

これにつきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「なし」の声あり)

中川委員長

それでは、特にないようですので、次に、指導課長より報告をお願いいたします。

指導課長

まず、1点目、平成24年度東京都公立学校教育管理職等選考結果を、教育委員会資料に基づきましてご説明申し上げます。ステープラーどめになっているものでございます。

まず初めに、教育管理職選考の結果でございます。こちらは、指導主事への任用を目的としたA選考、副校長の任用を目的としたB選考、同じく副校長を任用するためのC選考、こちらは、年齢制限と主幹3年以上で、区の推薦というものでございます。

順を追って説明いたします。

A選考でございますが、おおむね全体の倍率で1.2倍で、東京都全体で76名の合格者が出ております。本区では、小学校の一般区分が、受験者1名のうち、最終合格者1名となっております。将来的には指導主事への任用が予定されております。

続きまして、B選考は、全体の倍率、おおむね1.1倍、東京都全体で269名の合格者が出ております。千代田区におきましては、小学校2名受験をし、2名合格しております。中学校は、1名受験をし、1名合格となっております。

なお、C選考につきましては、全体倍率1.1倍、東京都全体で32名ございましたが、本区での受験者はおりませんでした。

1枚おめくりをいただきますと、裏面に、校長職候補者選考の結果を資料としてまとめております。

こちらは、小学校全体倍率4.2倍のうち、東京都全体で141名最終合格者がおります。千代田区におきましては、5名の受験者に対しまして、一次合格者が2名、最終合格者が1名という結果になりました。なお、中学校、高等学校等の九段中等教育学校の部分につきましては、受験者はおりませんでした。

2枚目をご覧ください。参考といたしまして、主幹教諭の選考結果も記載しております。

区分Aは、申し込み制で36歳以上の教員が申し込むことができます。小学校受験者、本区において、1名受験し、合格者1名となっております。また、高等学校の区分に入りますが、九段中等教育学校の先生が2名受験をし、合格者2名となっております。

また、区分Bは推薦制になっておりまして、48歳以上の者になります。こちらは小学校のみで、1名受験、1名合格となっております。

2枚目の裏面をご覧ください。こちらは主任教諭の選考結果でございま

す。

小学校は、本区から7名受験をし、合格者数6名です。中学校は、3名受験をし、合格者数2名でございます。高等学校区分の九段中等教育学校の先生が、4名受験をし、4名合格しております。

3枚目をご覧ください。今回、公立学校教育管理職選考ということで、タイトルになっておりますが、区立幼稚園長、副園長の選考結果につきましてもお報告申し上げます。

資料でございますように、千代田区、園長は有資格者2名のうち選考を受けたのが2名ございましたが、残念ながら合格者は出ませんでした。副園長は、有資格者8名のうち、受験者数2名、合格者数2名というような形になっております。

3枚目の裏面をご覧ください。こちらは、主任教諭の選考結果でございます。表の一番上の選考年度、平成24年度の欄をご覧くださいますと、有資格者1名、受験者数1名、合格者1名という結果になっております。

参考に、平成23年度、平成22年度、あるいは平成24年4月1日現在の園長、副園長、主任教諭、教諭の構成比率の表も載せさせていただきました。

報告は以上です。

中川委員長

ありがとうございました。

ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

よろしいですか。

(「なし」の声あり)

中川委員長
指導課長

特にないようですので、2件目をお願いいたします。

お手元の資料、平成24年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について、教育委員会資料に基づきまして、ご説明を申し上げます。

この学力調査は、平成24年7月5日(木)に、小学校5年生と中学校・中等教育学校の2年生を対象とした東京都の学力調査の結果でございます。

記載でございますように、各教科ごと、東京都と千代田区の平均正答率を記載しております。各観点です。例えば国語で言いますと、「関心・意欲・態度」、「話す・聞く」、「書く」、「言語」、「読む」、そして最後に、「全体平均」というものを載せております。

右をご覧くださいますと、結果に基づいた分析を載せております。なお、その分析の下は、全体平均をグラフ化したもので、左側の色の濃い方が千代田区で、斜線部分が東京都の平均正答率になります。

まず、小学校につきまして、全教科において、平均正答率は、東京都の平均正答率を約7ポイントから11ポイント、平均すると8ポイントぐらいになると思うんですが、上回っている結果となりました。かなり成績的にはよろしいかと思えます。

2点目は、「関心・意欲・態度」、学習に向かうために重要な1つの観点でございます「関心・意欲・態度」の平均正答率も、よく児童が各教科の学習に興味を持って取り組んでいるということがわかるかと思えます。ただ

し、正答率が高いのですが、理科の「関心・意欲・態度」をご覧いただきますと、東京都の平均正答率よりも0.6ポイントほど下回っているという結果でございます。

続きまして、算数におきましては、「数学的な考え方」、「技能」、それと「全体平均」においては、東京都の平均を約10ポイント以上上回っているという結果になっております。これは本区のきめ細かな指導の授業の中で推進しております習熟度別指導の成果があらわれてきたのだと考えられます。

続きまして、理科ですが、理科は他の3教科と比べますと、東京都の平均正答率との差が少ないです。これは区の達成度調査のときにもお話ししたと思いますが、本区においても、理科に若干の課題があるというものでございます。

本区には、コア・サイエンス・ティーチャーといたしまして、理科を専門とする先生も3名ほどございます。コア・サイエンス・ティーチャーや、理科支援員等のさらなる有効活用について検討してまいりたいと思っております。

続きまして、2枚目をご覧ください。

中学校も同様に、国語、社会、数学、理科、外国語、それぞれ観点別の正答等、平均正答率について、表とグラフでお示ししております。

右上の分析をご覧ください。

中学校におきましても、全教科において、東京都の平均正答率を7ポイントから15ポイント程度上回っております。小学校よりも上回っているポイントが高いとなっております。

全体的には、各教科への「関心・意欲・態度」も、小学校同様高いものでございます。その中でも、外国語の「関心・意欲・態度」が、東京都の「関心・意欲・態度」と比べて、約13ポイントほど上回っております。これは、千代田区では就学前から、保育園、幼稚園にもALTを配置しており、小学校においても、また全学年においてALTを派遣し、本日の授業参観でもありましたように、ALTを派遣しております。中学校においてもALTの活用、あるいは英語科における少人数指導等、生徒の興味・関心を高める工夫をしている結果ではないかと思われれます。

続きまして、数学と外国語については、東京都の平均正答率を13ポイント以上上回っているという好成績でございました。これは、小学校同様、きめ細かな指導という授業を展開している本区において、少人数指導の成果があらわれた結果でもあると思われれます。

以上が、東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果についての報告です。

中川委員長

ありがとうございました。

市川委員

これにつきまして、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

中学も小学校もそうなんです、理科について、以前から私は言っているんですが、「関心・意欲・態度」について、小学校においては東京都の平均

を下回っているという状況で、何か対策を講じなければいけないんだろなという気はしています。先ほどのお話で、教科の支援要員とか、いろいろ考えておられるようですが、ぜひ理科については力を入れないと、ますます差が開いてくるのではないかなと心配しています。

そういった教科について、他の学校と比べて、比較的な意味での差異があるんですね。それは早急にしないと、ますます低くなってしまおうという気がするものですから、ぜひ来年度から、できるところから速やかに手を打ってもらいたいと思います。

指導課長

区の達成度調査でも、課題が見られておりまして、今回の調査でも理科に課題が見られるということです。市川委員ご指摘のとおり、早急に手を打っていかねばならないと考えております。今回、区全体の傾向としても、理科が弱いということは、各学校においても、理科が得意なところと、そうでないところが出てきていると思いますので、そういったところもきちんと分析をし、対策を講じてまいりたいと思っています。

中川委員長

よろしく願いいたします。

ほかにいかがでしょうか。

(「なし」の声あり)

◎日程第3 その他

児童・家庭支援センター

(1) 個人情報の記載された資料の発見について

子ども総務課

(1) 千代田区行政委員会委員の報酬について

(2) 平成25年教育委員会第1回定例会について

中川委員長

それでは、特にないようですので、その他の報告事項に入ります。

それでは、各課長より報告をお願いいたします。

児童・家庭支援センター所長

平成24年11月13日の教育委員会で、療育事業を利用していた児童の氏名等が記載された資料の紛失についてご報告させていただきましたが、12月3日午前中に全ての資料が見つかりましたので、ご報告させていただきます。

発見の経緯ですが、平成24年7月下旬から11月末までの間、子ども発達センターを開設するための改修工事に際し、児童・家庭支援センター内の備品と書類の一部を、一時的に旧今川中学校に移して保管しておりました。改修工事が終わったため、12月3日に旧今川中学校で保管していたものを、児童・家庭支援センターに戻しました。その際、書類の中から今回の資料が発見されたものです。

この資料が見つかったことについては、12月3日のうちに、対象保護者に全てご連絡を既にしております。

今回の件は、担当職員の個人情報の管理、また取り扱いについての注意の意識が欠けていたことが原因であり、再発防止のため、個人情報の取り扱い

に対して職員の指導を徹底しているところでございます。大変ご心配をおかけし、申しわけございませんでした。

報告は以上でございます。

中川委員長

見つかってよかったですね。ありがとうございました。

それでは、子ども総務課長からお願いいたします。

子ども総務課長

2件でございます。

1件は、行政委員の報酬。これは教育委員、監査委員、選挙管理委員さんの報酬につきましては、区議会の第1回定例会から審議いただいているところなのですが、議論半ばでございまして、第4回定例会でも継続審議となっているところでございますので、まだ審議中であるということをご報告申し上げます。

もう1点でございます。平成25年1月の教育委員会の定例会でございますが、1月8日の定例会は、今のところ、会議に諮る案件が多分ないだろうということで、あらかじめ1月の1回目の定例会は休会とさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

中川委員長

いかがでしょうか。よろしいですか。

(了 承)

中川委員長

それでは、そのように致します。

子ども総務課長

それでは、平成25年第1回定例会は1月22日ということで、よろしく願いいたします。

中川委員長

わかりました。

ほかにはいかがですか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

中川委員長

教育委員のほうからは何かありますか。

(「なし」の声あり)

中川委員長

よろしいですか。

それでは、特にないようですので、以上をもちまして、本日の定例会を閉会いたします。ありがとうございました。